

【追補】

◎日本腎臓学会の『慢性腎臓病(CKD)に対する食事療法基準2007年版』が改訂され、2014年7月に『2014年版』が発表されておりましたので、p.279の4(1)食事療法の基本①～⑥を下記の表1に、p.282の「維持血液透析患者(週3回透析)の食事基準」及びp.283の「腹膜透析患者の食事基準」を下記の表2と差し替えてください。

表1 CKDステージによる食事療法基準

ステージ(GFR)	エネルギー (kcal/kgBW/日)	たんぱく質 (g/kgBW/日)	食塩 (g/日)	カリウム (mg/日)
ステージ1 (GFR ≥ 90)	25～35	過剰な摂取をしない	3 ≤ < 6	制限なし
ステージ2 (GFR 60～89)		過剰な摂取をしない		制限なし
ステージ3a (GFR 45～59)		0.8～1.0		制限なし
ステージ3b (GFR 30～44)		0.6～0.8		≤ 2,000
ステージ4 (GFR 15～29)		0.6～0.8		≤ 1,500
ステージ5 (GFR < 15)		0.6～0.8		≤ 1,500
5D (透析療法中)	別表			

注) エネルギーや栄養素は、適正な量を設定するために、合併する疾患(糖尿病、肥満など)のガイドラインなどを参照して病態に応じて調整する。性別、年齢、身体活動度などにより異なる。

注) 体重は基本的に標準体重(BMI = 22)を用いる。

表2 CKDステージによる食事療法基準

ステージ5D	エネルギー (kcal/kgBW/日)	たんぱく質 (g/kgBW/日)	食塩 (g/日)	水分	カリウム (mg/日)	リン (mg/日)
血液透析 (週3回)	30～35 ^{注1,2)}	0.9～1.2 ^{注1)}	< 6 ^{注3)}	できるだけ 少なく	≤ 2,000	≤ たんぱく質(g) × 15
腹膜透析	30～35 ^{注1,2,4)}	0.9～1.2 ^{注1)}	PD除水量(L) × 7.5 + 尿量(L) × 5	PD除水量 + 尿量	制限なし ^{注5)}	≤ たんぱく質(g) × 15

注1) 体重は基本的に標準体重(BMI = 22)を用いる。

注2) 性別、年齢、合併症、身体活動度などにより異なる。

注3) 尿量、身体活動度、体格、栄養状態、透析間体重増加を考慮して適宜調整する。

注4) 腹膜吸収ブドウ糖からのエネルギー分を差し引く。

注5) 高カリウム血症を認める場合には血液透析同様に制限する。

(日本腎臓学会編『慢性腎臓病に対する食事療法基準2014年版』)

ご迷惑をお掛けいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

2015(平成27)年6月吉日
東京アカデミー教材作製部門